

ロシア社会民主労働党中央委員会と党活動家との会議（「八月会議」）

秘密保持のうえから、「夏の会議」あるいは「八月会議」といわれているが、実際には、1913年9月23日~10月1日（10月6~14）に、レーニンが夏のあいだ住んでいたポロニノ村（クラコフの近く）でひらかれた。

会議にはつぎの諸組織の代表者が参加した。——中央委員会、中央機関紙編集局、雑誌『プロスヴェシチエニエ』、社会民主党国会議員団、ペテルブルグ、モスクワ、ハリコフ、エカテリノスラフ、コストロマ、キエフ、ウラルの諸組織。ポーランド社会民主主義者の代表も、評議権をもってくわわった。会議には、レーニン、トロヤノフスキー、クルプスカヤ、バダーエフ、アルマンド、ムラノフ、ロズミロヴィチ、ペトロフスキー、シャーゴフ、サモイロフ、バラショーフ、ロボフ、ガネツキー、カーメンスキーその他、全部で22名が出席した。

会議はつぎの問題を審議した。（一）地方からの報告、ポーランド社会民主党の活動報告、中央委員会の活動報告、（二）民族問題、（三）社会民主党の国会活動について、（四）社会民主党国会議員団内の事情について、（五）組織問題および党大会について、（六）ストライキ運動について、（七）合法的団体における活動について、（八）ナロードニキについて、（九）党出版物について、（一〇）ウィーンでひらかれるべき国際社会主義者大会について。はじめの二日は、国会議員団の活動の問題にかんする、国会議員との私的会議にあてられた。

会議はレーニンが指導した。彼は開会の辞を述べ、中央委員会の活動報告を行い、民族問題とウィーンでひらかれる国際社会主義者大会について報告した。このほか、彼はほとんどすべての問題について発言し、いろいろの提案を行い、決議草案を作成した。

地方からの報告では、労働運動のいっそうの高揚が指摘された。会議は、全国的規模での労働者の立ちあがりを目指すために、党活動を全国的に統一する必要があるとの意見を表明した。

レーニンは、中央委員会報告を行って、1912年のプラーグ協議会以来の中央委員会の活動を総括した。1914年にウィーンでひらかれる国際社会主義者大会についての報告では、レーニンは、合法および非合法の諸組織からできるだけ多くの代議員を大会に派遣することを提案し、また大会と同時に党大会をひらくことを示唆した。会議はレーニンの閉会の辞でとじられた。

ポロニノ会議の議事録は発見されていない。決議は単行の小冊子『ロシア社会民主労働党中央委員会と党活動家との1913年夏の会議の通報と決議』によって、中央委員会出版部から国外で公表された。秘密保持の必要から、いくつかの決議は完全な形では公表されなかった。たとえば、労働運動にかんする決議第六項と、党出版物にかんする決議第一～第五項はおとされている。諸決議の完全なテキストは、非合法のこんによく版刷りで発表された。注）党大会の召集は、国際社会主義者大会と同時ときめられていた。そうすると、

大会召集のための準備活動を秘匿することが容易になるからである。大会の準備活動は1914年の春から夏にかけてはげしく行われた。しかし大戦がはじまったので、大会は開催されなかった。

第19巻 P658~659 事項記注